

都城工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語コミュニケーションⅡ	
科目基礎情報							
科目番号	0030		科目区分	一般 / 必須			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	建築学科		対象学年	2			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	2023年度版 英検準2級過去6回全問題集 ISBN 9784010937273						
担当教員	笹谷 浩一郎						
到達目標							
1) 身近で、実用的な英語を聞いて理解することができる。 2) 身近で、実用的な内容を英語で表現することができる。							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安 A	標準的な到達レベルの目安 B	未到達レベルの目安 C	(学生記入欄) 到達したレベルに○をすること。			
評価項目1	身近で、実用的な英語を聞いて80%以上理解することができる。	身近で、実用的な英語を聞いて60～80%理解することができる。	身近で、実用的な英語を聞いて50%程度理解することができる。	A ・ B ・ C			
評価項目2	身近で、実用的な内容を英語で80%以上表現することができる。	身近で、実用的な内容を英語で60～80%表現することができる。	身近で、実用的な内容を英語で50%程度表現することができる。	A ・ B ・ C			
評価項目3				A ・ B ・ C			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	英語を「聴く」「話す」能力を中心に、「読む」「書く」能力を含めた総合的な英語力を高めて行く。身近な目標として、英語検定準2級・2級合格を目指す。						
授業の進め方・方法	1) 演習中心の授業となるため、課題に積極的に取り組むこと。 2) 音読中心の復習を確実に行うこと。 3) この科目は学修単位のため、事前・事後学習が求められる。2回目以降の授業時に課題を提出すること。						
注意点	1) 授業には、辞書（電子辞書も可）を持ってくること。 2) 指示された課題に取り組むこと。						
ポートフォリオ							
(学生記入欄) 【授業計画の説明】実施状況を記入してください。 【理解の度合】理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。 ・ 前期中間試験まで： ・ 前期末試験まで： ・ 後期中間試験まで： ・ 学年末試験まで： 【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。 (記入例) ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。 ・ 前期中間試験 点数： 総評： ・ 前期末試験 点数： 総評： ・ 後期中間試験 点数： 総評： ・ 学年末試験 点数： 総評： 【総合到達度】「到達目標」どおりに達成することができたかどうか、記入してください。 ・ 総合評価の点数： 総評：							
----- (教員記入欄) 【授業計画の説明】実施状況を記入してください。 【授業の実施状況】実施状況を記入してください。 ・ 前期中間試験まで： ・ 前期末試験まで： ・ 後期中間試験まで： ・ 学年末試験まで： 【評価の実施状況】総合評価を出した後に記入してください。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	

授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	授業計画の説明 リスニング演習1、スピーキング演習1	授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明 学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		2週	リスニング演習2、スピーキング演習2	学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		3週	リスニング演習3、スピーキング演習3	学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		4週	リスニング演習4、スピーキング演習4	学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		5週	リスニング演習5、スピーキング演習5	学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		6週	リスニング演習6、スピーキング演習6	学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		7週	リスニング演習7、スピーキング演習7	学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		8週	前期中間試験				
	2ndQ	9週	試験答案の返却及び解説 リスニング演習8、スピーキング演習8	試験問題の解説及びポートフォリオの記入 学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		10週	リスニング演習9、スピーキング演習9	学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		11週	リスニング演習10、スピーキング演習10	学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		12週	リスニング演習11、スピーキング演習11	学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		13週	リスニング演習12、スピーキング演習12	学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		14週	リスニング演習13、スピーキング演習13	学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		15週	リスニング演習14、スピーキング演14	学習した内容を暗唱し、自由に使いこなせるようになる。			
		16週	前期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	小テスト	レポート	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	20	0	0	0	100
知識の基本的な理解	50	0	20	0	0	0	70
思考・推論・創造への適応力	30	0	0	0	0	0	30
態度・志向性	0	0	0	0	0	0	0